

令和 6 年度

授業シラバス・
年間指導計画

家庭
(2 年)

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
家庭科	家庭基礎	2	教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 [東京書籍] 副教材：家庭基礎 学習ノート [東京書籍]

学習のねらい	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
--------	---

授業形態 アドバイス など	クラス単位での一斉授業で、2時間連続となります。 様々な単元を短時間で学習していくので、毎時間しっかり集中して取り組んでください。 また、実習や体験学習も行うので、事前の心構えや安全に関する注意事項を正しく理解して、実践してください。 年間3回、学習した内容を問う考查を実施します。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力 技能力	思考力 判断力 表現力	協働力 創造力 生きる力
主な 評価方法	定期考查 実習作品 実習記録表	定期考查 レポート ワークシート 発表	レポートの記述 ワークシート 学習ノート 発表 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	生涯を見通す 目標を持って生きる	・生涯を見通して、意思決定をしていくことの重要性について理解している。	・生涯を見通した生活について主体的に考え論理的に表現することができる。	・青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	人生をつくる 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 3. これからの家庭生活と社会	・家族・家庭の機能と家族関係、社会との関わりについて理解を深めている。	・家族の一員としての役割について問題を見出し、課題を解決することができる。	・子どもの生活と保育について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	子どもと共に育つ 1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもと関わる 4. これからの保育環境	・乳幼児の心身の発達や親の役割と保育、子育て支援について理解している。	・子どもの健やかな発達のために親や家族、地域が果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。	・高齢者の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	超高齢社会を共に生きる 1. 超高齢社会の到来 2. 高齢者の心身の特徴 3. これからの超高齢社会	・高齢者を取り巻く社会環境や高齢期の心身の特徴について理解している。	・高齢者の自立生活を支えるために、家庭や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。	・衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	共に生き、共に支える			
	衣生活をつくる 1. 衣服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 衣服を管理する 4. これからの衣生活	・被服材料、被服の計画、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集ができる ・被服製作の基礎的な技能を身に付けている。	・被服の機能性や快適性について問題を見だし、課題を設定し、解決する力を身に付けている。	
	ホームプロジェクト			
後期	食生活をつくる 1. 食生活の課題を考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食生活の選択と安全 4. 調理の基礎 5. 食生活の文化と知恵 6. これからの食生活	・食品の栄養的特質、調理上の性質、健康や環境に配慮した食生活について理解している。 ・調理に必要な技能を身に付けている。	・食品の調理上の性質、食の安全性について問題を見だし、課題を設定し、解決する力を身に付けている。	・食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	住生活をつくる 1. 住生活の変遷住居の機能 2. 安全で快適な住生活計画 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活	・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・住居の機能性や快適性について問題を見だし、課題を設定し、解決する力を身に付けている。	・住生活と住環境について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	経済生活を営む 1. 情報の収集と意思決定 2. 購入・支払いの方法 3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す 5. これからの経済生活	・契約の重要性や家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会の関わりについて理解している。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見だし、課題を設定し、解決する力を身に付けている。	・生活における経済の計画について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	持続可能な生活を営む これからの生活を創造する	・持続可能な社会に参画することの意義について理解している。	・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう課題を設定し、解決する力を身に付けている。	・持続可能なライフスタイルと環境について生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
備考				